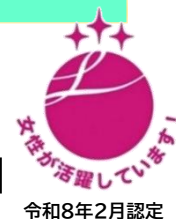


株式会社報恩八田

「女性が活躍しやすい環境は全ての社員が働きやすい」



八戸市を中心に葬祭ホールを運営するとともに、仏壇・神仏具等の販売を行う株式会社報恩八田は、令和8年、えるぼし認定(3段階目)を取得しました。女性活躍推進に取り組むきっかけや効果について、同社の八田さんと館さんにお話を伺いました。

「えるぼし認定」取得のきっかけ

葬祭業として、お客様のために多様な視点が重要であると考えて、以前から、女性管理職の登用や葬儀担当者の育成を推進し、専門職や管理職として活躍できる環境作りを進めてきました。

ここ数年、労働局の開催する企業説明会に参加する中で、求職者の方が「えるぼし」や「くるみん」の旗が立っている企業を目掛けて行く光景を見て、自社の取組を客観的に示すことができると気づき、認定取得を目指しました。

女性活躍への向き合い方

女性活躍推進は女性だけの課題ではなく、会社全体の取組であるという共通認識を持つことを一番意識していました。ご遺族の皆様へ寄り添うためには、社員一人ひとりが安心して働き、能力を発揮できる環境が欠かせないという考え方について、現場スタッフと対話をして、理解を深める過程が、職場環境整備やえるぼし認定に繋がったのではないかなと考えています。

雰囲気の変化

30年以上前は男性社員が圧倒的に多かったのですが、現状では女性社員が過半数です。近年の採用では、実際に葬儀を経験して、当社女性スタッフの働く姿勢、家族にそっと寄り添う姿勢などから、「とても優しく対応していただいたことが応募のきっかけになりました」という声を聞くことが多くなったように思います。最近、「八田さんは、女性担当者が多いね」と好意的な反応をいただくことが多く、女性活躍に取り組む社内の雰囲気が好循環を生み出しているのかもしれません。



株式会社報恩八田
取締役 八田 香菜子さん 総務部次長 館 博美さん(右)

今後の目標

今後もパートから正社員への転換や管理職登用など、性別に関わらずキャリアアップ支援に取り組むとともに、次期管理職候補の育成にも力を入れていきたいと思っています。また、今まで培ったキャリアを結婚や出産で中断することなく継続し、子育てと両立できる環境作りも大切にしており、いずれは、「子育てサポート企業」の認定である「くるみん」の取得も目標にしています。

「えるぼし認定」を検討する企業へのアドバイス

えるぼし認定の取得を目指す過程自体が、自社の現状の実績データを可視化することであり、働き方や職場環境を見つめ直すいい機会になりました。認定による自社の職場環境のアピールや、その結果として、採用力や社員定着率の向上に繋がる可能性があると思うのでぜひ取得をおすすめします。

葬祭業という業務上、こどもの急な発熱などによる、突発的な休みはとりづらいのではと想像していましたが、報恩八田では、お互い様という気持ちを持ち合って助け合える環境を整えているとのことでした。

(取材日:2026年6月15日)

法人概要

株式会社報恩八田	
所在地	八戸市十三日町 21
設立	1973年6月
従業員数	142名
事業内容	葬祭業、仏壇・神仏具等の販売